

## はじめに

このたびはSUNTAC U-Cableシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、お客様にSUNTAC U-Cableシリーズを安全で正しくお使いいただくためのものです。SUNTAC U-Cableシリーズをお使いになる前に、必ずお読みになり取扱い方法や注意事項を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

お読みになった後は、SUNTAC U-Cableシリーズをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

## ご使用にあたってのお願い

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書に書かれた使用方法を守らずに起きた故障・事故については補償できませんので、本書を良くお読みの上、必ず保管してください。
- (4) 正常にご使用になり不良が発生した場合は、保証期間内に限り、本機器の修理または交換をさせて頂きますが、他の設備・機器への損害は補償できません。
- (5) ご愛用登録カードはアフターサービスに必要なため、各事項をご記入のうえ必ず返送してください。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機器をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。  
この取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では通信規格が異なるため、使用できません。

本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

# 安全にお使いいただくために

## 本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示の内容を無視して取扱を誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 **警告** 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 **注意** 使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

**絵表示の意味**  記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機器は精密機器です。ご使用にあたっては、次の事項をよく読んで正しくお使いください。

## **警告**

本機器は一般オフィスや家庭のOA機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性ないし安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。



万一、異常な臭いがしたり、過熱や煙が出るといった場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、本機器をパソコンから取り外して、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。火災、故障の危険があります。



本機器を開けて内部の部品に触れないでください。電圧の高い部分があるため、感電の危険があります。また故障の原因にもなりますが、この場合は保証期間であっても保証できなくなりますので、ご注意ください。



端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。



## 注意

使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合は、火災、故障の原因となります。



本機器を濡らさないでください。水などの液体がかかった場合は、発熱、感電、故障の原因となります。



内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。



雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温の場所で使用、放置しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、または高温となるところには保管しないでください。故障の原因となります。



発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。



静電気や電気強度の強い場所でのご使用 / 保管はさけてください。故障の原因となります。



曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。



ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちて故障やけがの原因となります。



コネクタの部分に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



乳幼児の手の届かないところで使用 / 保管してください。けが、感電、故障の原因となります。



薬品が触れる場所や、薬品のそばでの使用は避けてください。故障、変色あるいは変形の原因となります。また、ケース溶解による異臭、有害な気体が発生することがあります。



# 目次

## 準備編

はじめに .....	1
ご使用にあたってのお願い .....	1
安全にお使いいただく前に .....	2
目次 .....	4
<hr/>	
ご使用になる前に	
本製品の特徴 .....	6
制限事項 .....	6
料金コースとアクセスポイント番号を必ずご確認ください！ .....	7
梱包内容の確認 .....	7
マニュアルについてのご注意 .....	7
各部の名称 .....	8
収納 .....	8
通信方式の設定方法について .....	9
<hr/>	
すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合	
WindowsXPのドライバ更新方法 .....	11
WindowsMeのドライバ更新方法 .....	14
Windows98のドライバ更新方法 .....	17
Windows2000のドライバ更新方法 .....	20
<hr/>	
WindowsXPの設定	
WindowsXPへの組込み .....	23
USBドライバを組込む .....	23
インストールの確認 .....	25
<hr/>	
WindowsMeの設定	
WindowsMeへの組込み .....	26
USBドライバとモデム設定ファイルを組込む .....	26
インストールの確認 .....	28
<hr/>	
Windows98の設定	
Windows98への組込み .....	29
USBドライバとモデム設定ファイルを組込む .....	29
インストールの確認 .....	32
<hr/>	
Windows2000の設定	
Windows2000への組込み .....	33
USBドライバを組込む .....	33
インストールの確認 .....	36
<hr/>	
Macintoshの設定	
Macintoshへの組込み .....	37
USBドライバを組込む .....	37
CCLファイルのインストール .....	38
インストールの確認 .....	38

<b>通信の準備</b>	
U-Cableと電話機の接続 .....	41
電話機からの取り外し .....	41
電話機の設定を「データ通信モード」に変更する .....	42
通信ポートの設定 .....	43
通信先の通信方式設定 .....	43
インターネットへの接続について .....	43
<b>Windows版電子マニュアルについて</b>	
概要 .....	44
Acrobat Reader5.0のインストール方法 .....	44
電子マニュアルを見るには .....	45
<b>Macintosh版電子マニュアルについて</b>	
概要 .....	46
Acrobat Reader5.0のインストール方法 .....	46
電子マニュアルを見るには .....	46
<b>付録</b>	
トラブル対処法 .....	47
仕様一覧 .....	52

## 通信編

通信編のCD-ROMに電子マニュアル（PDFファイル）として収録されています。  
準備編の「電子マニュアルについて」をお読みになってからお使いください。

### WindowsXPでインターネットに接続する

インターネットに接続する .....	1
--------------------	---

### WindowsMe/98でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークの確認 .....	10
ネットワーク構成ファイルをインストールする .....	11
ダイヤルアップネットワークをインストールする .....	15
ダイヤルアップネットワークを登録する .....	18
IPパケットサイズの変更(契約コースが「ネット25」又は「つなぎ放題コース」の方) .....	24
接続方法 .....	26

### Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続する .....	28
--------------------	----

### Macintoshでインターネットに接続する

インターネットに接続する .....	38
--------------------	----

### トラブル対処法

トラブル対処法 .....	46
---------------	----

# ご使用になる前に

## 本製品の特徴

### H "(AirH" 対応) 専用USBデータ通信ケーブル

本製品はH "(AirH" 対応) 端末専用です。

(対応電話機: Panasonic KX-HV200 (2002年1月現在))

### AirH" 対応 (32kパケット方式/フレックスチェンジ方式)

H "(AirH" 対応) 端末を使用して、32kパケット方式による「つなぎ放題コース」及びフレックスチェンジ方式による「ネット25」の利用が可能となります。

また、ISDNと同等の64kbps、32kbpsのPIAFS通信( )も可能です。

( :PIAFSにも対応しているH "(AirH" 対応) 端末をご使用の場合のみ)

### 電源不要、USBに対応したすっきりしたケーブルタイプ

PCの標準インターフェースとなったUSBに対応。

電源はパソコンのUSBから供給のためACアダプタ等は必要なく、電話機とパソコンをケーブル1本で接続できます。

### 簡単な取扱い

ホットプラグにより、パソコンの電源が入っている状態でケーブルの抜き差しが可能です。

H "(AirH" 対応) 端末を接続すれば、一般的なモデムのように動作し、ATコマンドを使用して操作することができます。(電話機を接続していない場合、ATコマンドでの操作はできません。)

USBポートを持つDOS/V機とMacintoshで幅広く動作します。

対応OSは、WindowsXP/Me/98/2000およびMac OS 9.2~8.6です。

Windows95、WindowsNTやバージョンの古いMac OSおよびMac OS Xでは動作しません。

## ⚠ 注意

本機器を用いてデータ通信を行うためには

- ① H "(AirH" 対応) 端末と、DDIポケットとの回線契約が必要です。
- ② 電話機側のデータ通信設定で、端末通信速度を「115200bps (115.2kbps)」に設定する必要があります。  
(Panasonic KX-HV200では、「機能96:データ通信設定」の「データ通信ケーブル」を「115200bps」に設定してください。「OFF」では動作しません)

制限事項

本製品はH”(AirH”対応)端末専用です。  
 H”(AirH”対応)以外のfeel H”(フィールエッジ)・H”(エッジ)端末、  
 -DATA32、-DATA対応の電話機ではご使用になれません。  
 本製品は無線モデム/FAX方式及び無線インターネット方式には対応しており  
 ません。  
 64kbps、32kbpsのPIAFS通信は、PIAFSにも対応しているH”(AirH”対応)  
 端末をご使用の場合のみご利用いただけます。  
 一部のエリアでは64kbps データ通信ができない場合があります。  
 (ただし、32kbps データ通信は可能です。)

料金コースとアクセスポイント番号を必ずご確認ください！

**注意**

AirH”専用料金コース(つなぎ放題コース・ネット25)ご利用上のご注意  
 つなぎ放題コース・ネット25は、それぞれ「専用の通信方式」で、「専用  
 のアクセスポイント」に接続した場合のデータ通信料金が無料通信分の対  
 象となる料金コースです。  
 専用の通信方式以外(例:64kPIAFS)でデータ通信を行った場合、基本料  
 金とは別に通信料金が発生し、ご請求金額が高額になる恐れがあります。  
 通信方式は必ず、接続先・通信方式をご確認の上、正しく設定してください。

<料金コースと専用通信方式>

ご利用の料金コース	通信方式の名称	接続方法(電話番号の設定)
つなぎ放題コース	32kパケット方式	<アクセスポイント番号>##61
ネット25	フレックスチェンジ方式	<アクセスポイント番号>##7

ご利用のプロバイダごとにアクセスポイント番号は異なりますので、各プロバ  
 イダにご利用の料金コースに応じたアクセスポイント番号をご確認ください。

梱包内容の確認

お買い求め頂いたSUNTAC U-Cable type P5には、以下のものが梱包されています。  
 箱から取り出して、すべて揃っているかどうかを確認してください。

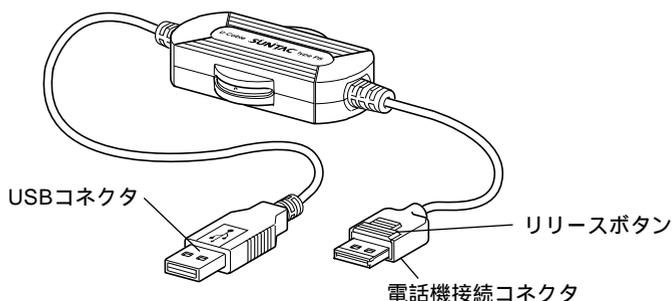
- U-Cable type P5 本体
- 添付ソフトウェアCD-ROM
- U-Cable type P5 ユーザーズマニュアル準備編(保証書、ご愛用者登録カード)

マニュアルについてのご注意

本マニュアル文中で一般的に「電話機」と表現しているものは、H”(AirH”対応)  
 端末のことを示します。

## 各部の名称

接続を行う場合には、コネクタの形状を確認して正しく接続してください。

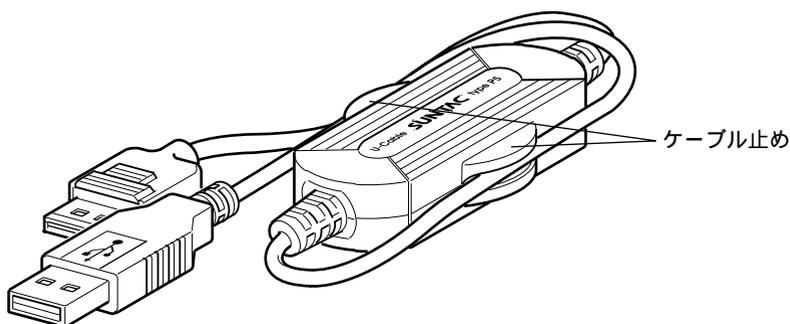


## 警告

端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入したりしないでください。故障、感電の危険があります。



## 収納



ケーブルを横のケーブル止めに止めることにより、ケーブルがばらけなくなり、持ち運びに便利になります。

上図の様にケーブル止めの幅の狭い側にUSBケーブルを、幅の広い側にUSBケーブルと電話機接続ケーブルを止めるようにしてください。

通信方式の設定方法について

通信方式の設定は、「電話番号の末尾に文字列(##n)を入力」することにより行います。また、7ページの「料金コースとアクセスポイント番号を必ずご確認ください!」でもお知らせしましたようにご利用になる料金コースによっても設定すべき通信方式が異なります。

通信を始める前に、必ず「料金コース」と「アクセスポイント番号」、「接続方式」をよくご確認ください。

設定方法

電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「- (ハイフン)」を入れずに続けて入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##nを加えてください。(XXXXXXXXXX は接続先の電話番号です。)

32kパケットの場合 : XXXXXXXXXXXX ##61  
(「つなぎ放題コース」をご利用の方)

フレックスチェンジの場合 : XXXXXXXXXXXX ##7  
(「ネット25」をご利用の方)

32kPIAFS の場合 : XXXXXXXXXXXX ##3

64kPIAFS の場合 : XXXXXXXXXXXX ##4 または XXXXXXXXXXXX

ただし、PTE 経由で64kPIAFS の通信を行う場合は、電話番号の頭に1695 ##4 \*を加えてください。

1695 ##4 \*XXX\_XXX\_XXXX

 **注意**

H“(AirH”対応)端末では、32kパケット、フレックスチェンジが標準的に使用できますが、64kPIAFS、32kPIAFSについては、電話機が本製品での制御に対応していない場合、使用できません。

(「Panasonic KX-HV200」はPIAFSでの動作にも対応しております。)

注意事項

- 本製品はH“(AirH”対応)端末専用です。  
H“(AirH”対応)以外のfeel H“(フィールエッジ)・H“(エッジ)端末、  
-DATA32、-DATA対応の電話機ではご使用になれません。
- 電話機のサービスエリア外(圏外)では、使用できません。  
圏内表示がされているときにお使いください。
- 屋内でも電波の弱い場所で電話機の電界強度のバー表示が1本しか表示されていない場合は、通信が不安定となる恐れがあります。  
電界強度のバー表示が2本以上安定して表示されている状態でデータ通信を行ってください。
- 電話機の電界強度のバー表示が表示されていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

U-Cable type P1、U-Cable type P3をインストールしていないパソコンに、U-Cable type P5をはじめてインストールする場合は、ご使用になるOSの設定のページへお進みください。

### Windowsをお使いの場合

WindowsXP/Me/98/2000で、すでにU-Cable type P1、U-Cable type P3がインストールされている場合は、「ドライバの更新」を行なってください。(あらたにインストールする必要はありません。)

(複数のUSBポートがある場合、接続したUSBポートによっては「U-Cable type P#2」などと表示されることがありますが、それらもすべて更新してください。)

### 注意

- ドライバの更新を行なわないと、U-Cable type P5がパソコンに認識されていても発信は出来ません。
- ドライバの更新は、パソコンのUSBポートにU-Cable type P5を接続してから行なってください。



ドライバを更新した場合、

参考 U-Cable type P1、U-Cable type P3、U-Cable type P5のどれでも動作が可能になります。

ドライバの更新方法は、お使いになるOSのドライバ更新方法のページをご参照ください。

WindowsXPのドライバ更新方法 ..... 11ページ

WindowsMeのドライバ更新方法 ..... 14ページ

Windows98のドライバ更新方法 ..... 17ページ

Windows2000のドライバ更新方法 ..... 20ページ

### Macintoshをお使いの場合

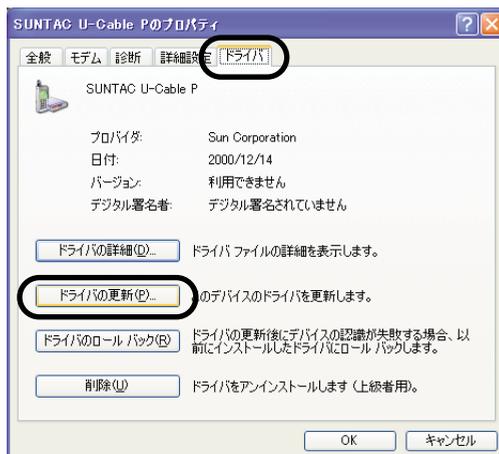
Mac OS 9.2～8.6で、すでにU-Cable type P1、U-Cable type P3がインストールされている場合は、USBドライバ「U-Cable P」をインストールする必要はありません。

CCLファイルのみをインストールしていただければ正常に動作いたします。インストール方法については、「Macintoshの設定」をご参照ください。

## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

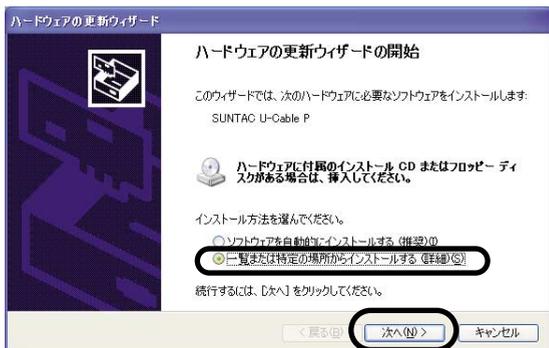
### WindowsXPのドライバ更新方法

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3 [スタート] から「コントロールパネル」をクリックし、「コントロールパネル」が開きましたら「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
- 4 「電話とモデムのオプション」をクリックし、[モデム] タブをクリックします。
- 5 「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」が開きます。  
[ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。

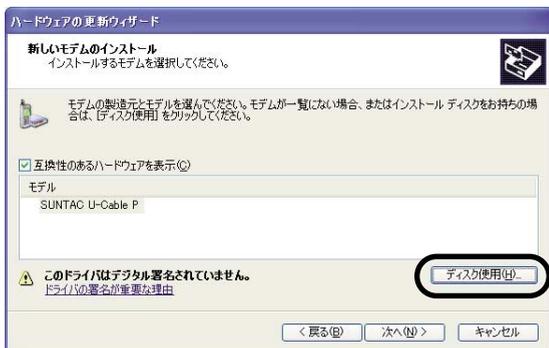


「ハードウェアの更新ウィザード」の画面が表示されます。

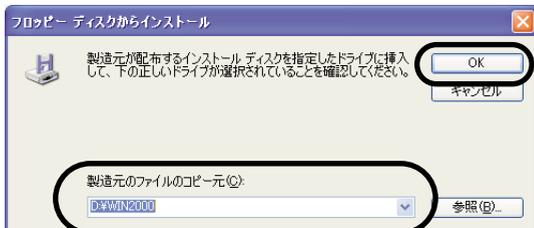
- 6 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7 [ ディスク使用 ] ボタンをクリックします。



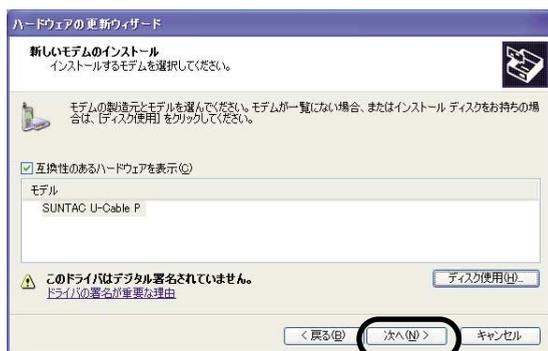
- 8 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥WIN2000」(ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。)を指定し、[OK] ボタンをクリックします。



(画面はCD-ROMドライブがDドライブの場合の例です)

## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

- 9 更新ウィザードの画面に戻ったら、[次へ] ボタンをクリックします。



- 10 画面の指示に従い、再度 [次へ] ボタンをクリックします。

「ハードウェアのインストール」という画面が開きます。  
[続行] ボタンをクリックします。

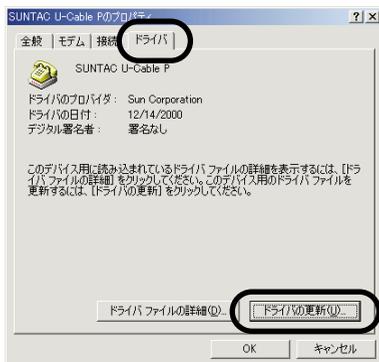
- 11 「デバイスドライバのアップグレード ウィザードの完了」画面が表示されますので  
[完了] ボタンをクリックします。

- 12 [閉じる] ボタンをクリックし、「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」を閉じます。

以上で、WindowsXPのドライバの更新は終了です。

複数のUSBポートがある場合、接続したUSBポートによっては「U-Cable type P#2」などと表示されることがありますが、上記方法を参照しそれらすべてを更新してください。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックします。  
[システムのプロパティ]の[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ]の画面が開きますので、「モデム」の左側の[+]をクリックし「SUNTAC U-Cable P」をダブルクリックします。
- 5 「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」が開きます。  
[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。  
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。

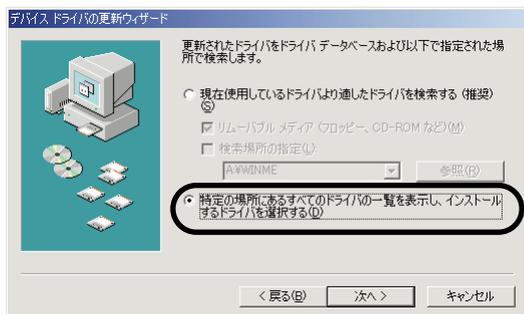


- 6 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」(S)にチェックをし、[次へ]ボタンをクリックします。

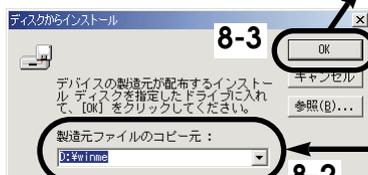
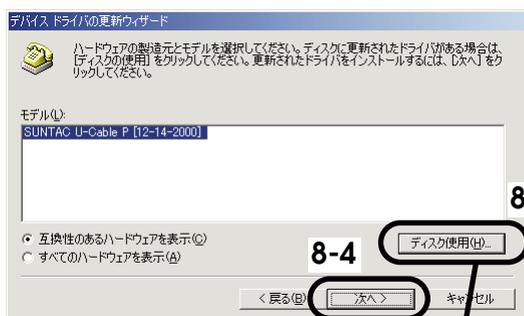


## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

- 7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」にチェックをし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 8 [ ディスク使用 ] ボタンをクリックし、「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥winme」(ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。)を指定し、[ OK ] ボタンをクリックします。更新ウィザードの画面に戻ったら、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



(画面はCD-ROMドライブがDドライブの場合の例です)

9 「ドライバ更新の警告」ダイアログが開く場合がありますが、[はい(Y)]をクリックします。

10 [次へ] ボタンをクリックします。



11 [完了] ボタンをクリックします。



12 [閉じる] ボタンをクリックし、「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」を閉じます。

13 U-CableをパソコンのUSBポートからはずし、もういちど接続しなおします。

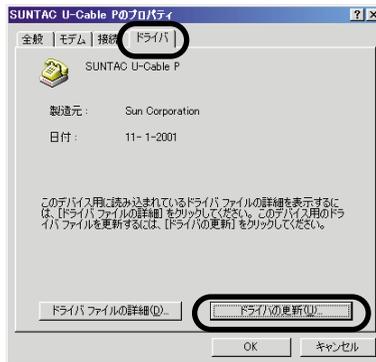
以上で、WindowsMeのドライバの更新は終了です。

複数のUSBポートがある場合、接続したUSBポートによっては「U-Cable type P#2」など表示されることがありますが、上記方法を参照しそれらすべてを更新してください。

# すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

## Windows98のドライバ更新方法

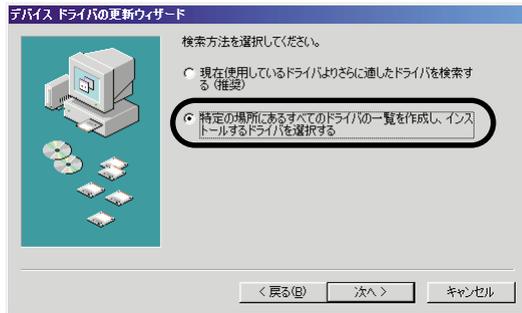
- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックします。  
[システムのプロパティ]の[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ]の画面が開きますので、「モデム」の左側の[+]をクリックし「SUNTAC U-Cable P」をダブルクリックします。
- 5 「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」が開きます。  
[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。  
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。



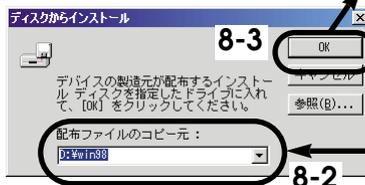
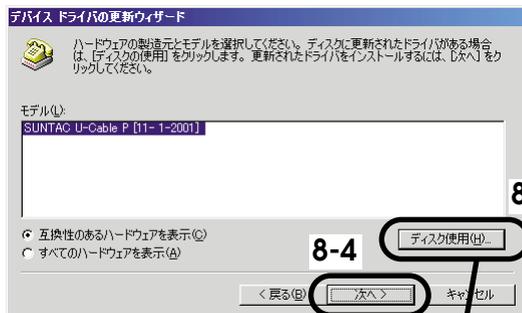
- 6 [次へ] ボタンをクリックします。



- 7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを「選択する」にチェックをし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 8 [ディスク使用] ボタンをクリックし、「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥win98」(ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。)を指定し、[OK] ボタンをクリックします。更新ウィザードの画面に戻ったら、[次へ] ボタンをクリックします。



(画面はCD-ROMドライブがDドライブの場合の例です)

## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

9 「ドライバ更新の警告」ダイアログが開く場合がありますが、[はい(Y)]をクリックします。

10 [次へ] ボタンをクリックします。



11 [完了] ボタンをクリックします。



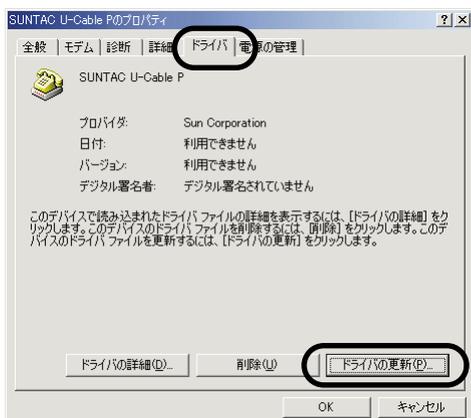
12 [閉じる] ボタンをクリックし、「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」を閉じます。

13 U-CableをパソコンのUSBポートからはずし、もういちど接続しなおします。

以上で、Windows98のドライバの更新は終了です。

複数のUSBポートがある場合、接続したUSBポートによっては「U-Cable type P#2」などと表示されることがありますが、上記方法を参照しそれらすべてを更新してください。

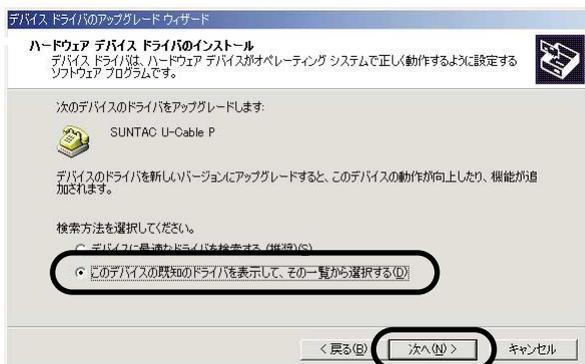
- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続します。
- 3 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。  
[システムのプロパティ] の「ハードウェア」タブをクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。  
[デバイスマネージャ] の画面が開きますので、「モデム」の左側の [+ ] をクリックし「SUNTAC U-Cable P」をダブルクリックします。
- 5 「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」が開きます。  
[ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



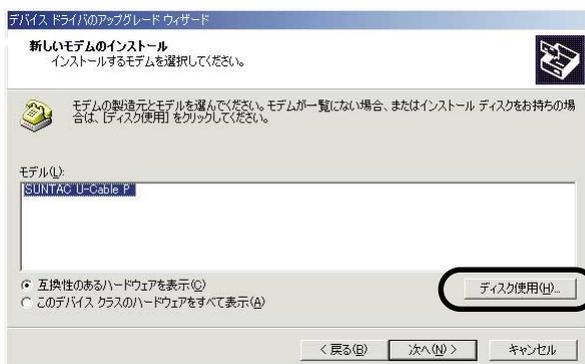
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」の開始画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。

## すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合

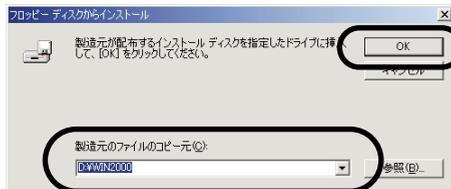
- 6 「このデバイスの既知のドライバを表示してその一覧から選択する (D)」にチェックをし [次へ] ボタンをクリックします。



- 7 [ ディスク使用 ] ボタンをクリックします。

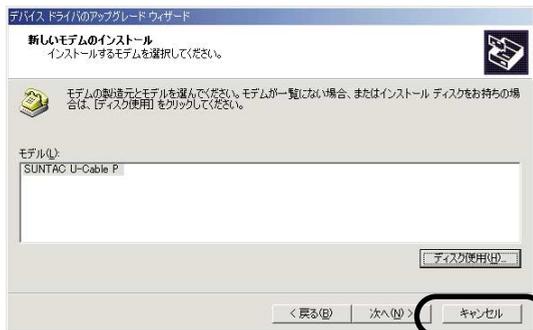


- 8 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥WIN2000」(ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。)を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



(画面はCDROMドライブがDドライブの場合の例です)

- 9 更新ウィザードの画面に戻ったら、[次へ]ボタンをクリックします。



- 10 画面の指示に従い、再度 [次へ] ボタンをクリックします。「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが開きます。[はい]ボタンをクリックします。
- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」画面が表示されますので [完了] ボタンをクリックします。
- 12 [閉じる] ボタンをクリックし、「SUNTAC U-Cable Pのプロパティ」を閉じます。

以上で、Windows2000のドライバの更新は終了です。

複数のUSBポートがある場合、接続したUSBポートによっては「U-Cable type P#2」などと表示されることがありますが、上記方法を参照しそれらすべてを更新してください。

# WindowsXPの設定

## WindowsXPへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindowsXPであること。

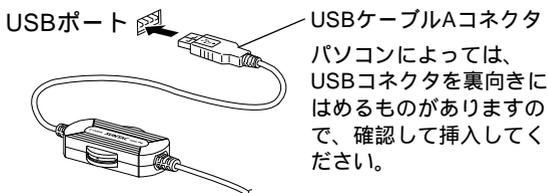
USBドライバを組み込む

インストールの確認

## USBドライバを組み込む

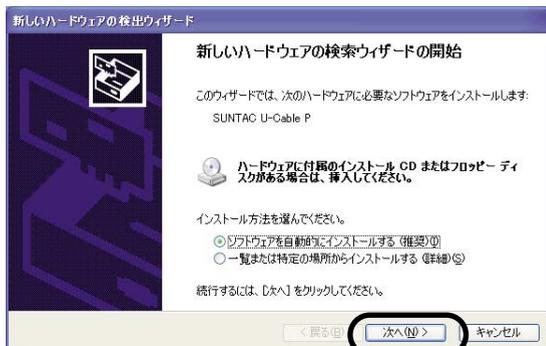
付属のCD-ROMを使ってUSBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続します。

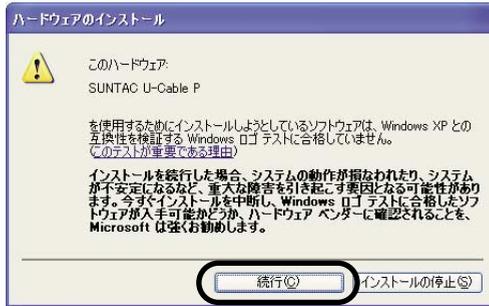


接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

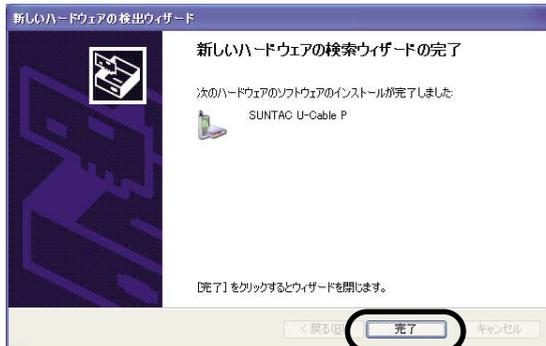
- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックして「次へ」をクリックします。



- 4 ハードウェアのインストールの画面が表示されます。内容を確認して「続行」をクリックしてください。



- 5 インストールされたデバイスが「SUNTAC U-Cable P」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でWindowsXPへのインストールは完了です。

## インストールの確認

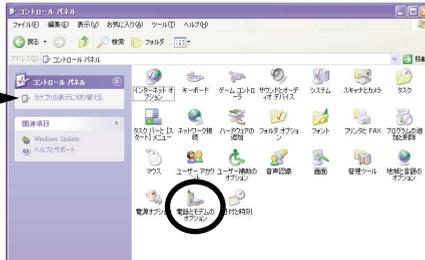
接続したU-Cableが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「コントロールパネル」をクリックしてください。



- 2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

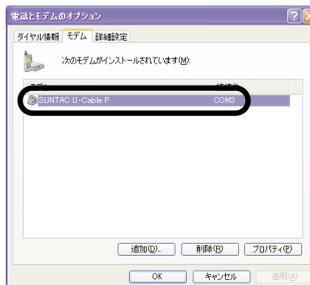
この表示にならない場合は「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。



- 3 「電話とモデムのオプション」のダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。

モデムに「SUNTAC U-Cable P」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



# WindowsMeの設定

## WindowsMeへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindowsMeである事

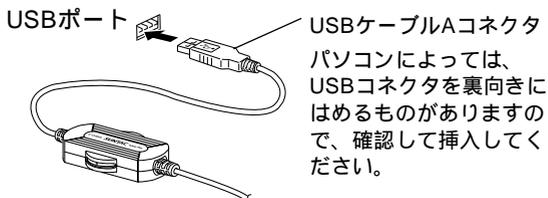
USBドライバとモデム設定ファイルを組込む

インストールの確認

## USBドライバとモデム設定ファイルを組込む

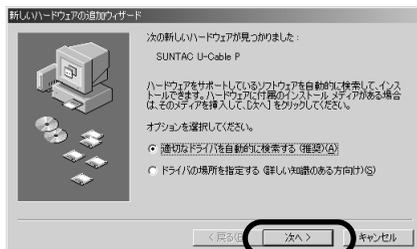
付属のCD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-Cableを下図を参照してパソコンに接続してください。



接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

- 3 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



この画面が表示されない場合はP45の「Windowsでインストールできない場合」をご確認ください。

- 4 「ほかのドライバの選択」の画面が表示されます。UCPUSBME.INFのファイルが指定されている「U-Cable」を選択し、「OK」をクリックしてください。



- 5 「完了」をクリックしてください。



- 6 引き続き自動的にモデム設定ファイルのインストールが行われます。

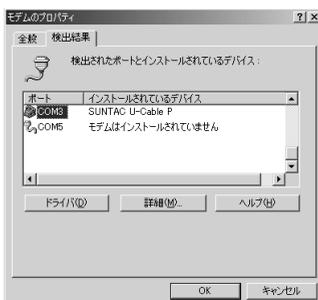
以上でWindowsMeへのインストールは完了です。

接続したU-Cableが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。



- 3 「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックしてください。



SUNTAC U-Cable P がCOM \* ( \*はパソコンによって異なります) に割り当てられていればインストールは正常に完了しています。

# Windows98の設定

## Windows98への組み込み

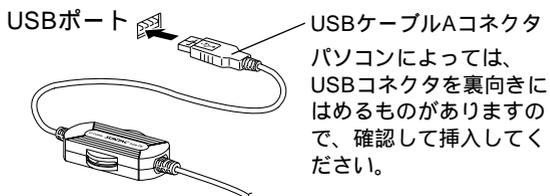
機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

- パソコンのOSがWindows98である事
- USBドライバとモデム設定ファイルを組込む
- インストールの確認

## USBドライバとモデム設定ファイルを組込む

付属のCD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-Cableを下図を参照してパソコンに接続してください。



接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

- 3 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



この画面が表示されない場合はP45の「Windowsでインストールできない場合」をご確認ください。

- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。



- 5 付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認した後「検索場所の指定」のみをチェックします。検索場所の指定の欄に「D:¥WIN98」（ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。）と入力して「次へ」をクリックします。



（画面はCD-ROMがDドライブの例です。）

- 6 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というメッセージのダイアログが開きますので、「次へ」をクリックします。



- 7 「完了」をクリックしてください。



- 8 引き続き自動的にモデム設定ファイルのインストールが行われます。

以上でWindows98へのインストールは完了です。

接続したU-Cableが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 「コントロールパネル」内の「システム」アイコンをダブルクリックして、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。



「ポート (COM / LPT)」の下に「PSPort (COM3)」(システムによっては、COMの番号が変わります)と、「モデム」の下に「SUNTAC U-Cable P」が表示されていればインストールは完了しています。

表示されていない場合は、再インストールしてください。

# Windows2000の設定

## Windows2000への組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点では機器とパソコンを接続しないで下さい。

パソコンのOSがWindows2000であること。

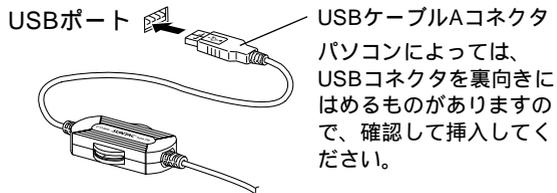
USBドライバを組み込む

インストールの確認

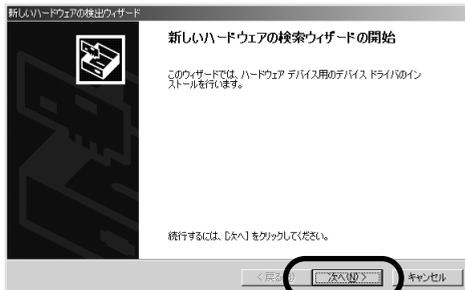
## USBドライバを組み込む

付属のCD-ROMを使ってUSBドライバをパソコンに組み込み、U-Cableを認識させる必要があります。

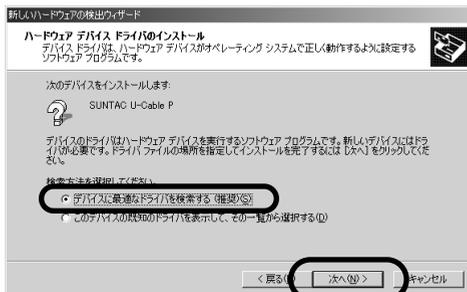
- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをWindows2000機のUSBポートに接続します。



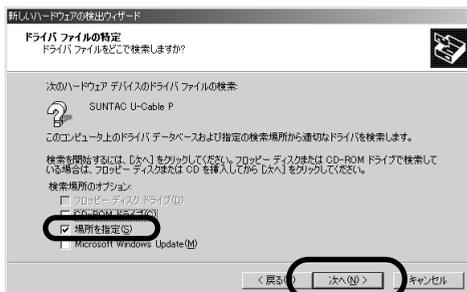
- 3 「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示された後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



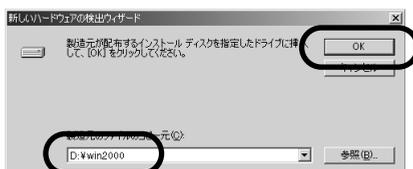
- 4 検索方法の選択で「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックして「次へ」をクリックしてください。



- 2 検索場所のオプションから「場所を指定」のみチェックして「次へ」をクリックしてください。

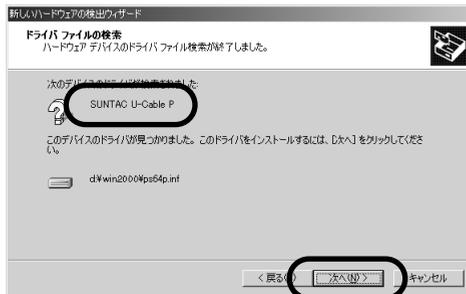


- 6 付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認して「製造元のファイルのコピー - 元」の欄に「D:¥win2000」(ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。)と入力して「OK」をクリックします。



(画面はCD-ROMがDドライブの例です)

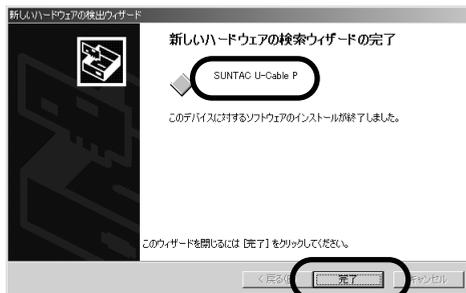
- 7 検出されたデバイスが「SUNATC U-Cable P」であることを確認して「次へ」をクリックします。



- 8 デジタル署名の画面が表示されます。内容を確認して「はい」をクリックしてください。



- 9 インストールされたデバイスが「SUNATC U-Cable P」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でWindows2000へのインストールは完了です。

## インストールの確認

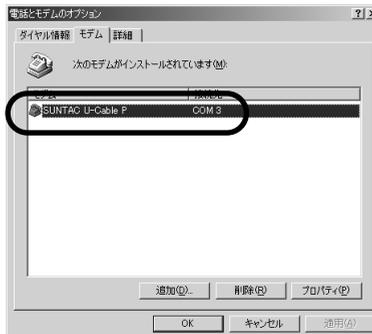
USBドライバを組込んだU-Cable が正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。



- 3 「電話とモデムのオプション」のダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。  
モデムに「SUNTAC U-Cable P」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



# Macintoshの設定

## Macintoshへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

Mac OS 9.2 ~ 8.6のいずれかであること

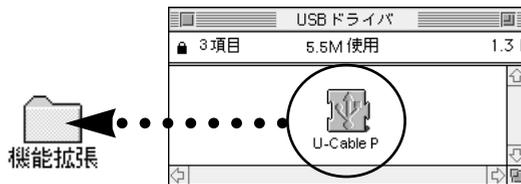
USBドライバを組み込む

インストールの確認

## USBドライバを組み込む

USBドライバを以下の手順で組み込んでください。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」の内にある「U-Cable P」ファイルを「システム」フォルダの「機能拡張」フォルダへコピーします。



- 2 再起動します。  
これで、USBドライバの組み込みは完了です。

**参考** ? USBドライバをアンインストールする時は、「機能拡張」フォルダ内の「U-Cable P」をごみ箱に移動してください。

## CCLファイルのインストール

リモートアクセス等を利用するためには、付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」の内のCCLファイルをインストールする必要があります。

- 1 ご使用のMacintoshの「システムフォルダ」の「機能拡張」の「modem Scripts」の中に、この製品に添付されているCD-ROMの中から「SUNTAC U-Cable P5 (H)」をドラッグコピーします。

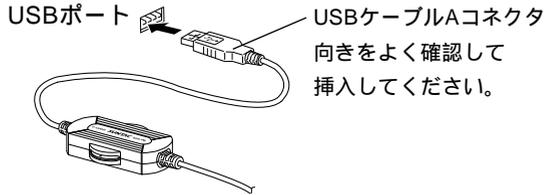


以上で、CCLファイルのインストールは完了です。

## インストールの確認

U-Cableを接続して正常に動作するか確認します。

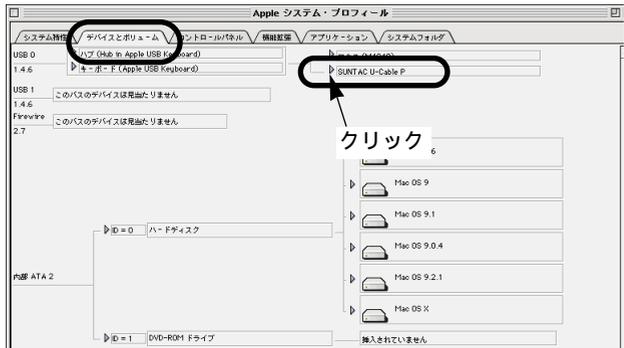
- 1 U-Cableをパソコンに接続してください。



- 2 「アップルメニュー」の「Apple システム・プロフィール」を選択します。



- 3 「Apple システム・プロフィール」の「デバイスとボリューム」タブをクリックします。

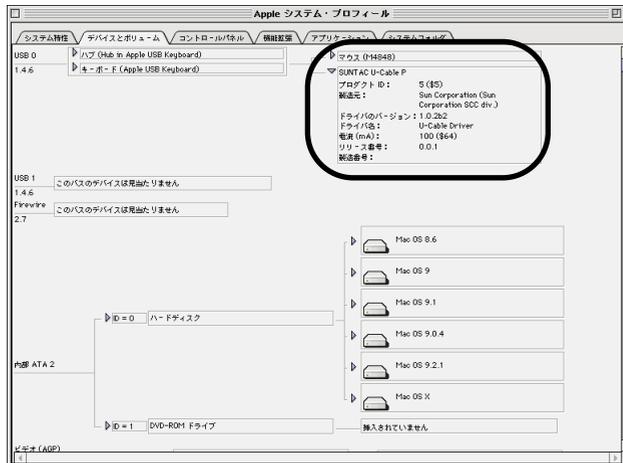


上記の画面が表示されたら、「SUNTAC U-Cable P」と書かれた部分の左にある三角マークをクリックします。  
(詳細情報を見ることができます。)

- 4 画面に以下のように表示されていれば接続は正しく行われています。
- (お使いの機種や接続されている周辺機器により、装置の構成等は異なる場合があります。)
- (Mac OSのバージョンにより、表示のされ方が多少異なる場合があります。)

SUNTAC U-Cable P	
プロダクトID :	5 (\$5)
製造元 :	Sun Corporation (Sun Corporation SCC div.)
ドライバのバージョン :	1.0.2b2
ドライバ名 :	U-Cable Driver
電流 (mA) :	100 (\$64)
リリース番号 :	0.0.1
製造番号 :	

プロダクトIDと製造元などが上記のように表示されているものがない場合は、「Appleシステム・プロフィール」を終了し、USBポートとU-Cableとの接続を確認してもう一度「Appleシステム・プロフィール」を起動してみてください。



# 通信の準備

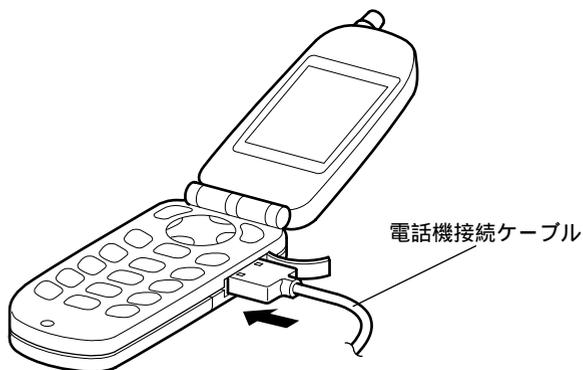
## U-Cableと電話機の接続

- 1 電話機接続コネクタで機器と電話機を接続してください。

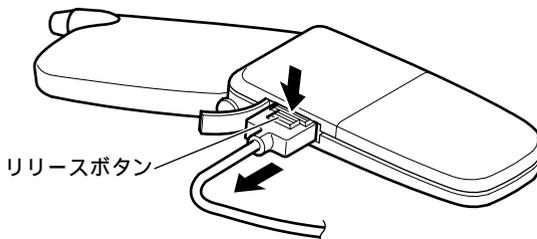
### ⚠ 注意

電話機接続ケーブルは向きに注意して接続してください。

下図では、リリースボタンが下に来るように接続していますが、電話機によっては、コネクタの向きが異なります。コネクタの向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になりますので、電話機の取扱説明書で必ずコネクタの向きを確認してください。



## 電話機からの取り外し



電話機接続ケーブルを取り外すときは、リリースボタンをつまんで（押して）引き抜いてください。ケーブルを持って引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因となります。

## 注意

U-Cable type P5をH“(AirH”対応)端末に接続してデータ通信を行なう際には、電話機側の「データ通信設定」を「115200bps」または「115.2Kbps」に変更する必要があります。

電話機側の「データ通信設定」が「OFF」になっている場合、

U-Cable type P5は正常に動作しません。



電話機の詳細な設定方法は、電話機の取扱説明書を参照して正しく設定してください。

### Panasonic KX-HV200の場合の設定例

以下は、Panasonic KX-HV200の場合の設定手順の例です。

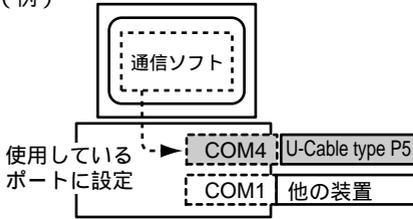
ご使用になる電話機によって操作が異なる場合がありますので、電話機の取扱説明書を参照して正しく設定してください。

- 1 「機能96：データ通信設定」を呼び出します。  
KX-HV200の「機能ボタン」を押し、続いて「9」、「6」を押しします。
- 2 カーソルキーの上下( )を使用して、「データ通信ケーブル」の欄を選択し、「選択」ボタンを押しします。
- 3 カーソルキーの上下( )を使用して、「115200bps」を選び、「決定」ボタンを押しします。
- 4 オンフック(電話を切る)ボタンを押すと、待ち受け状態に戻ります。

## 通信ポートの設定

パソコンには、いくつか通信ポート（Windowsの場合COMポート、Macintoshの場合はUSBポート、モデムポート、プリンタポート等）を装備している場合があります。この様な場合、通信ソフトが入出力する先を、機器が使用している通信ポートに合わせる必要があります。

（例）



パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器接続のたびに機器の使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでご注意ください。

Windowsのダイヤルアップなどではプロパティの「接続の方法」で表示される機器名を「SUNTAC U-Cable P」に設定する必要があります。Macintoshのリモートアクセスで使用するモデムの設定では「経由先」を「U-Cable P」、「モデム」を「SUNTAC U-Cable P5 (H)」に設定する必要があります。

## 通信先の通信方式設定

U-Cable type P5は「つなぎ放題コース（32kパケット方式）」と「ネット25（フレックスチェンジ方式）」に対応した、H”（AirH”対応）と接続することで、32kパケット方式、フレックスチェンジ方式に対応したアクセスポイントに接続することが可能です。

ただし契約した料金プランにあった通信方式を使用しないと、基本料金以外の料金が発生し、多額の請求となる恐れがあります。

「通信方式の設定方法について」の項を参照して電話番号を設定する際には、通信先の通信方式もご自分の料金プランにあった正しいものを指定してください。

（例）0570570511 ##7

相手先の電話番号 通信方式指定（この例はフレックスチェンジです）

## インターネットへの接続について

詳しくは電子マニュアル通信編に記載してありますのでそちらを参照してください。「電子マニュアルについて」をお読みいただきAcrobat ReaderをインストールしていただくとCD-ROMに収録されている電子マニュアル通信編をご覧いただけます。

# Windows版電子マニュアルについて

## 概要

インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。

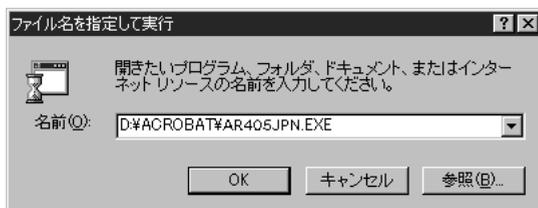
電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader 5.0をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader 5.0をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader5.0のインストール方法

ここでは、ハードディスクがCドライブ、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていると仮定して説明します。これと異なる割り当ての場合は、割り当てに応じたドライブ番号に読み替えて操作を行ってください。

- 1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属の「添付ソフトウェア CD-ROM」をセットします。  
必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2 Windows のタスクバーから「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。「名前」欄に D:¥ACROBAT¥AR405JPN.EXE と入力します。



- 4 「OK」ボタンをクリックすると、Acrobat Reader 5.0のインストールプログラムが起動します。
- 5 実際のインストール作業にはいる前に、インストール時の注意が記述されたダイアログが表示されます。参照後、「次へ」ボタンをクリックします。

- 6 「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。Acrobat Reader 5.0をインストールするドライブ/フォルダを指定します。

必ずローカルパソコンのハードディスクを選択してください。ネットワークドライブへはインストールできません。
- 7 「次へ」ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始します。
- 8 ファイルのコピーが終了すると、「情報」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてインストールを終了します。

### 電子マニュアルを見るには

ユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルを開きます。詳しい操作方法につきましては、Acrobat Reader 5.0 のオンラインヘルプを参照してください。

- 1 付属の「添付ソフトウェア CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 CD-ROMの「ACROBAT」フォルダ内の「UC-P5.PDF」をダブルクリックすると「使用許諾契約書」ダイアログが表示されます。内容を参照後、同意する場合は「同意する」ボタンを、同意できない場合は「同意しない」ボタンをクリックします。同意できないと、Acrobat Reader 5.0を使用することができません。
- 3 Acrobat Reader 5.0が起動し、ユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルを見ることができます。

# Macintosh版電子マニュアルについて

## 概要

インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。

電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader 5.0をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader 5.0をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader5.0のインストール方法

- 1 Mac本体を起動し、付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。  
必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2 「ACROBAT」フォルダ内の「Japanese Reader Installer」をダブルクリックしてください。インストール画面が表示されます。
- 3 「続ける」ボタンをクリックするとインストールの場所が表示されますので、インストールするフォルダを指定してください。指定後、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。
- 4 インストールが終了するとメッセージが表示されますので、「終了」ボタンをクリックしてください。

## 電子マニュアルを見るには

ユーザズマニュアル通信編の電子マニュアルを開きます。詳しい操作方法につきましては、Acrobat Reader 5.0 のオンラインヘルプを参照してください。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「ACROBAT」フォルダ内の「UC-P5.PDF」をダブルクリックするとAcrobat Reader 5.0が起動し、ユーザズマニュアル通信編の電子マニュアルを見ることができます。

## トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

### Windowsでインストールできない場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されない場合はスタートボタン - コントロールパネル - システムと選択しデバイスマネージャータブをクリックします。

「その他のデバイス」の内に「U-Cable P」が表示されている場合は「U-Cable P」を選択して「削除」ボタンをクリックして一度削除します。その後「更新」ボタンをクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデム」の内に「U-Cable P」が表示されている場合はすでにインストールは完了していますので本製品をご使用いただける状態になっています。

インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

### Macintoshでインストールできない場合

添付ソフトウェアCD-ROM内の、USBドライバとCCLファイルが、正しいフォルダにコピーされているか、マニュアル「準備編」の「Macintoshの設定」を参照し、確認してください。

### 通信ポートが開けない又はU-Cable Pを確認できない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

機器を接続してドライバがインストールされているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器を接続するたびに機器が使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

## 通信時、電話機がダイヤルしない又はダイヤルした後すぐ切断される場合

機器が電話機と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

電話機のバッテリー残量が非常に少ない場合、通信できないことがあります。電話機を充電してから、あるいは充電しながら、ご使用ください。

電話機の「データ通信設定」が、U-Cable type P5と通信できる設定（115200bpsまたは115.2Kbps）になっているか、電話機の取扱説明書を参照して確認してください。

「データ通信設定」が「OFF」の場合は、「115200bps」に設定してください。（Panasonic KX-HV200の場合、「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」が「115200bps」に設定されていること。）

SUNTAC U-Cable type P1、type P3などがすでにインストールされていた場合

### ・ Windowsの場合

ご使用になるWindowsパソコンで、SUNTAC U-Cable type P1、type P3などがすでにインストールされていた場合、U-Cable type P5はパソコンには認識されませんが、ドライバの更新を行なわないとH”（AirH”対応）端末と接続してデータ通信をすることが出来ません。

マニュアル「準備編」（本製品付属の本）の「すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合」を参照し、ドライバの更新を行なってください。

### ・ Macintoshの場合

CCLファイルが正しく設定されていない可能性があります。

マニュアル「準備編」（本製品付属の本）の「Macintoshの設定」を参照し、本製品用の正しいICCLファイル「SUNTAC U-Cable P5（H”）」がインストールされているか確認してください。

正しいICCLファイルがインストールされている場合は、リモートアクセスの「モデム」の設定で、「モデム」に「SUNTAC U-Cable P5（H”）」が選ばれているか確認してください。

その他のものが選ばれている場合は、マニュアル「通信編」（電子マニュアル）の「Macintoshでインターネットに接続する」を参照し、本製品用の正しいICCLファイル「SUNTAC U-Cable P5（H”）」を設定してください。

電話機のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、電話機の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回までに制限されています。3分以上してからもう一度かけなおしてください。

電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

(Windowsの場合、市外局番の入力欄は空欄とし、「国番号と市外局番を使う」や「ダイヤル情報を使う」などにチェックがしてある場合、チェックを外してください。)

電話番号の末尾に通信方式(##n)が正しく設定されているか確認してください。

接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

相手先が通信中(通話中)の場合があります。しばらくしてから再度かけ直してください。

### データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください

ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。

電波状態が悪いため、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通話できることを確認してみてください。

## 64kPIAFSの通信だけができない

電話機が、64kPIAFSのデータ通信をU-Cable type P5で制御可能かどうか、確認してください。U-Cable type P5の制御に非対応の電話機では、PIAFSをご使用になれません。電話機の取扱説明書をご確認ください。

不明な場合は電話機メーカーまたはD D I ポケットにご相談ください。

機器の設定が「発信者番号通知する」になっていない可能性があります。

64kPIAFSでデータ通信を行う場合、電話機の設定を「発信者番号通知する」にしてください。

(Windowsの場合は、モデムのプロパティで[詳細]タブをクリックし、追加の初期化コマンドに「AT#A1(発信者番号通知する)」を設定することで対処できます。)

## インターネットに接続できない場合

### (電話はつながるが、認証などでエラーとなる場合)

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。

接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

電話番号の末尾に通信方式(##n)が正しく設定されているか確認してください。

市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。(Windowsの場合、市外局番の入力欄は空欄とし、「国番号と市外局番を使う」や「ダイヤル情報を使う」などにチェックがしてある場合、チェックを外してください。)

## 通信が安定しない

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。電話機の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。

電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。

接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

## 通信速度が低く感じる

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。

パソコンと機器との端末速度設定が低い場合があります。特にWindowsでダイヤルアップ接続を利用している場合は、[ダイヤルアップネットワーク]の設定の中で機器の端末速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。[コントロールパネル]からの通信速度設定は無効になりますのでご注意ください。

## 自動着信できない場合

Sレジスタ0の値が0に設定されていないことを確認してください。  
0の場合は2などの値に変更してください。

## Windowsで、詳細情報（モデムの照会）を行なうとエラーになる場合

電話機の「データ通信設定」が、U-Cable type P5と通信できる設定になっていない（データ通信設定：OFF）か、Windowsが詳細情報の確認（モデムの照会）を行なう際に用いる端末通信速度に電話機が対応していない（設定できないか、設定されていない）場合、エラーとなります。

（Panasonic KX-HV200の場合、「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定が「115200bps・57600bps」の二種類のみとなります。）

Windowsでは、OSによって詳細情報の確認（モデムの照会）を行なう端末通信速度が異なります。

電話機が、U-Cable type P5とデータ通信する際に設定することが可能なデータ通信速度（Panasonic KX-HV200では、115200bps・57600bps）以外では、Windowsパソコンとコマンドのやり取りは出来ません。

電話機のデータ通信設定で、以下の速度に設定不可能な場合は、詳細情報（モデムの照会）はエラーとなりますので、ご注意ください。

（下記のいずれかの速度に設定した場合、詳細情報（モデムの照会）の結果を得ることが出来ます。）

- ・ Windows98、Me、XP（Home edition）の場合：9600bps、2400bps
- ・ Windows2000、XP（Professional）の場合：115200bps

（電話機が、オートボーレート（端末速度自動認識）機能に対応しており、また電話機がその設定になっている場合は、エラーにはなりません。）

ご使用になる電話機で、U-Cable type P5とデータ通信する際に設定可能なデータ速度は電話機の取扱説明書でご確認ください。

## 仕様一覧

### 基本仕様

対応端末	H”(AirH”対応)九州松下電器(株)製 KX-HV200(2002年1月現在)
制御コマンド	Hayes社ATコマンド準拠
通信方式	32kパケット方式、フレックスチェンジ方式 (64kPIAFS(PIAFS2.1版準拠)、 32kPIAFSは使用する端末に依存)
通信速度	データ通信:MAX64kbps(使用する端末に依存)

### 一般仕様

端末インターフェース	USB規格準拠
端末通信速度	使用する端末に依存 (115.2K/57600/38400/19200/9600/ 4800/2400/1200bps)
電源	DC+5V(パソコンより供給)
消費電力	最大約500mW
使用環境	温度:5~40 湿度:20~85%
寸法	全長:約500mm 本体:60(W)×33(D)×13.5(H)mm
重量	約35g

### 本体寸法図

